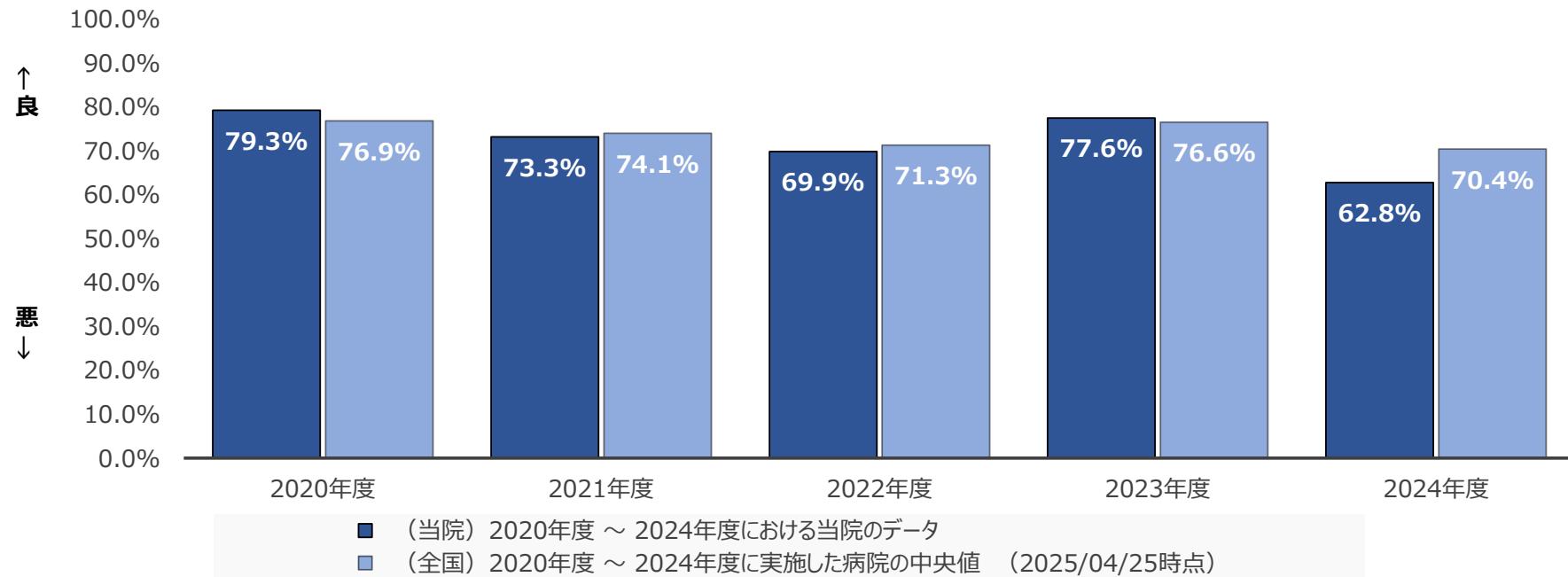


【28】急性心筋梗塞PCI doortoballoon 90分施行率



＜定義＞

(分子) 急性心筋梗塞退院患者のうち、90分以内に経皮的冠動脈形成術（急性心筋梗塞）が施行された患者数
（分母）急性心筋梗塞患者のうち、急性期PCIが施行された患者数

＜コメント＞

当院の特性上、ショックを合併するなど非常に重症な症例を治療することも少なくありません。近年、door to balloon時間とともに、重症例においては早急に心臓の負荷を軽減する重要性（door to unload）が認識されるようになり、Impellaなどの補助循環装置を導入後に経皮的冠動脈形成術を行うことも少なくありません。

24時間、365日体制で治療に当たっておりますが、発症から治療までの時間をいかに短くするかが、患者さんの予後改善に極めて重要であるため、引き続きスタッフを挙げて時間短縮に努めて参ります。

door to balloon時間：急性心筋梗塞の治療における迅速性を評価するための指標